

神戸市のGISとデータ利活用の取組み

神戸市 企画調整局 政策課

統合型GIS

庁内GIS



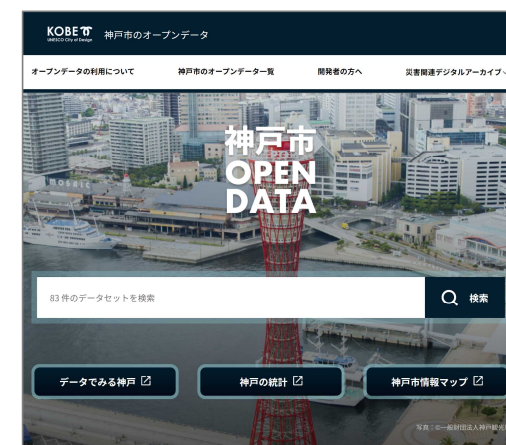
全職員が利用可能

神戸市情報マップ



市民公開できるものを
ホームページで公開

オープンデータポータル



神戸市情報マップの
データが自動反映される

統合型GIS普及までの道のり

神戸スマートシティ

2016年（平成28年）

統合型GIS導入

元々は統合型GISの他に、各課で個別GISを使用していた

2019年（令和元年）

市内の案内サイン（看板）をGISで全庁管理する取り組みが市長に評価され、

統合型GISの利用が広がる（300人→700人に）

アカウント管理や問合せ対応など作業が増加

2021年（令和3年）

新規GIS選定のタイミングで運用面を重視し、現GIS（パスコ）に移行

～令和4年

個別GISを調査し、可能なものから**統合型GISに統合**
約2千万円/年のランニングコスト削減



防災情報、交通安全など種別に管理

庁内GISのユーザー数など（2024年12月）

神戸スマートシティ

ログイン数・ユーザー数

庁内GIS	2023/12	2024/12
月間合計ログイン回数	12,374	13,080
利用時間	6,532	7,729
ログインユーザー数	1,427	1,498

月間約**1,500人**がログインし、
一人当たり平均**5時間/月**利用。

レイヤ数

時点	2024/1/1	2025/1/1
全体公開レイヤ数	760	789
制限レイヤ数	6,475	8,648
レイヤ総数	7,235	9,437

1.05倍

1.3倍

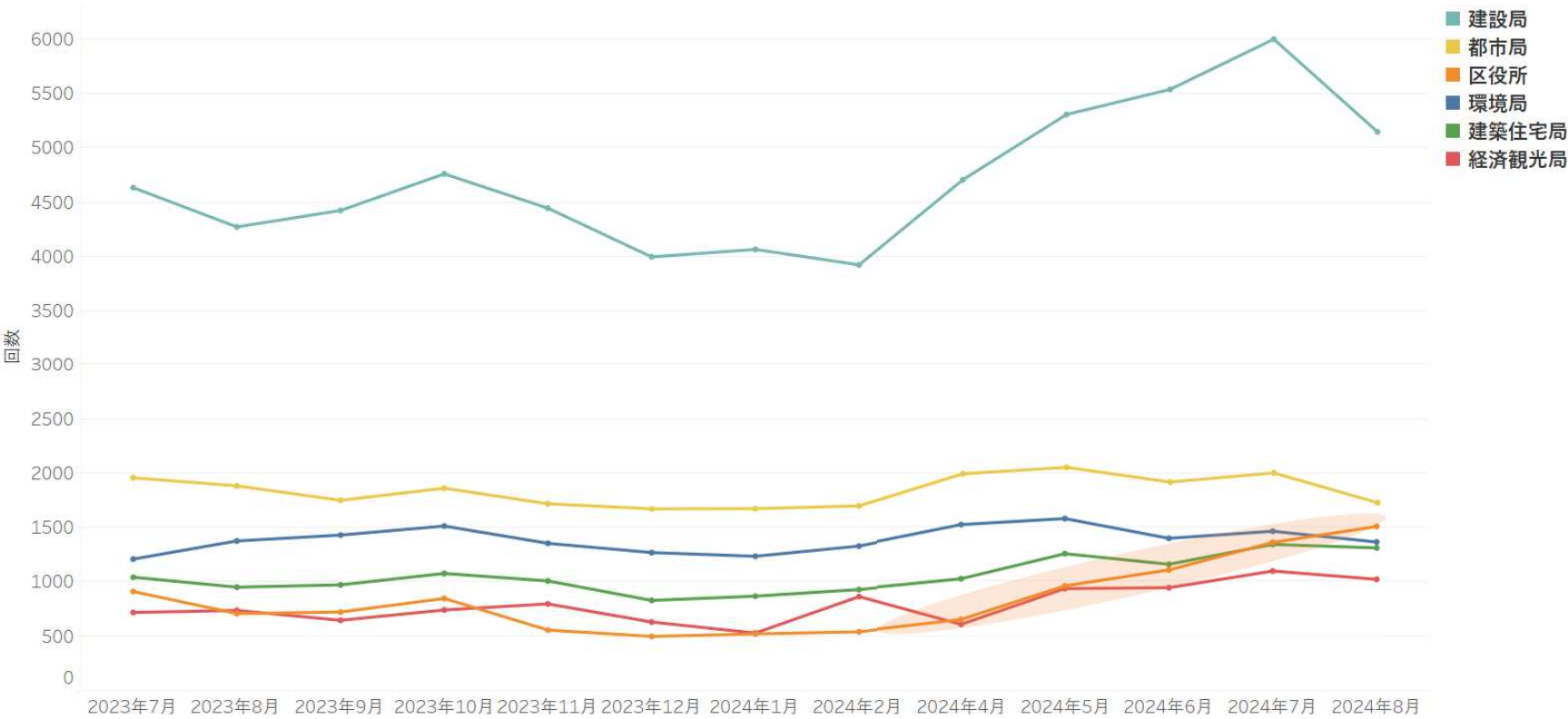
レイヤ数も順調に増加。
2025/1月時点レイヤ数は
前年同月比**1.3倍**に。



日常業務で利用するツールとして定着

各課での利用状況

2024年8月分の報告によると利用が多いのは
建設局、都市局、区役所、観光局、建築住宅局、経済観光局。
特に区役所では今年度に入り、利用が増加。



局室区別ログイン回数

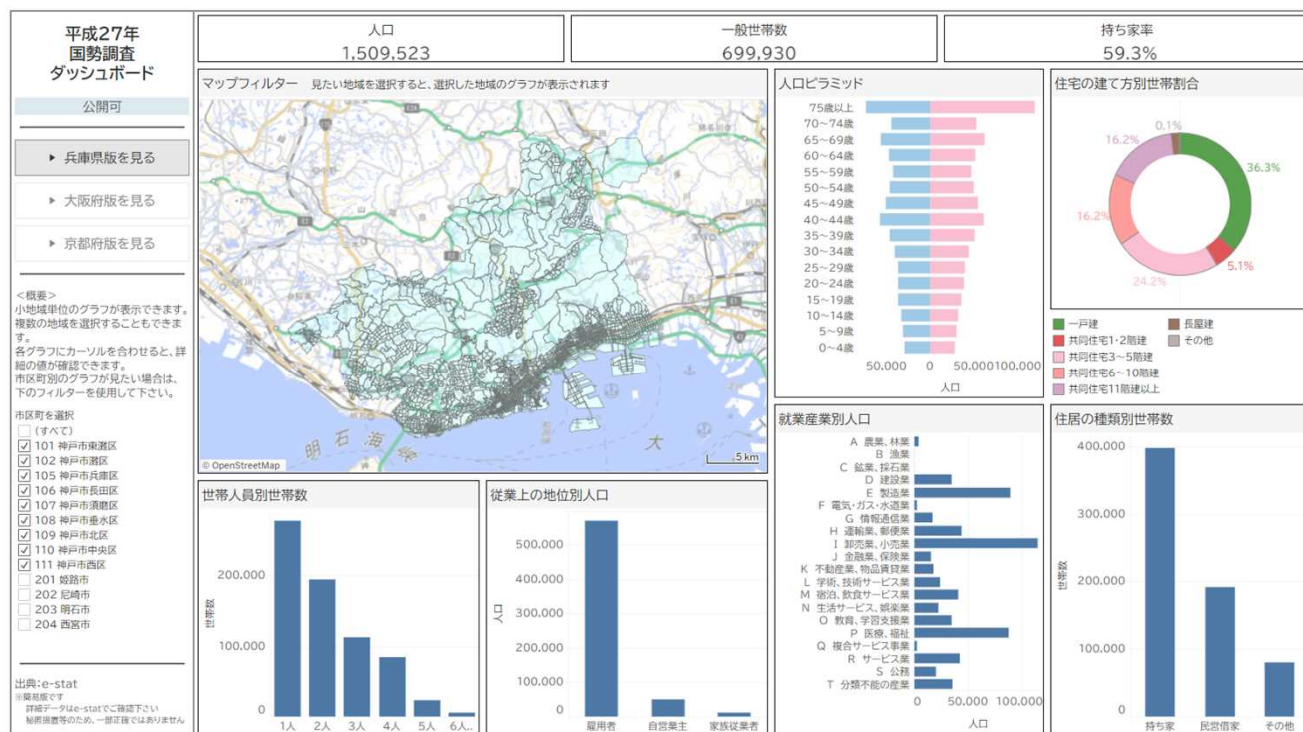
局室区	回数
建設局	5,146
都市局	1,727
区役所	1,502
環境局	1,359
建築住宅局	1,305
経済観光局	1,017
行財政局	787
水道局	549
港湾局	341
消防局	335
企画調整局	210
健康局	206
農業委員会	188
危機管理室	181
こども家庭局	178
地域協働局	155
交通局	155
教育委員会	103
福祉局	72
市長室	47
文化スポーツ局	43
会計室	2
人事委員会	1
市会事務局	1
総計	15,610

BIツールを使ってダッシュボードをDIYし、職員で共有！

神戸スマートシティ

BIツール : Business Intelligence ツールの略称で、データの可視化など意思決定のためのアプリケーションソフトウェア

ダッシュボード : 自動車の計器盤のように、複数のデータを可視化し一覧できる画面



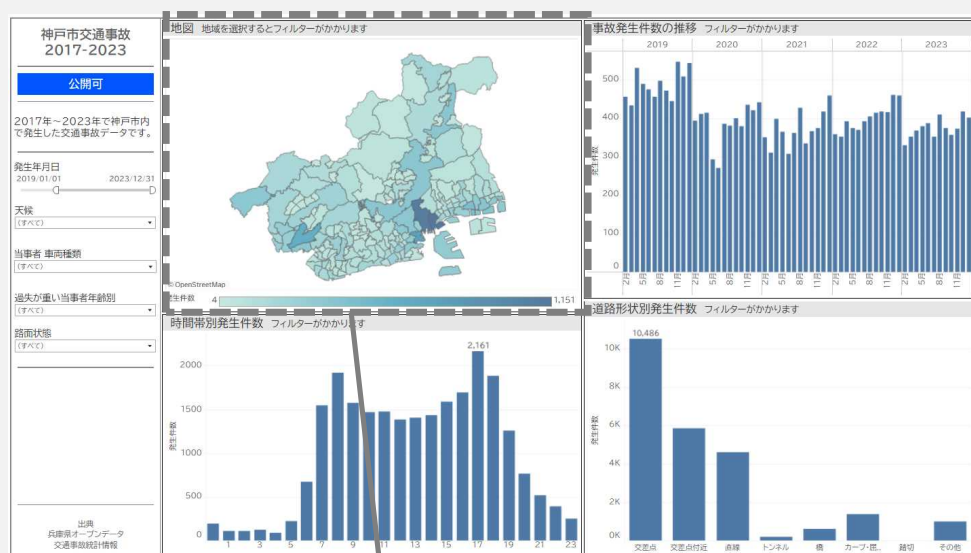
統計やプログラミングのスペシャリストがいるわけではないけど...

直感的に操作しやすい
BIツールの特性を生かし、
多様な統計ダッシュボードを
DIYで大量生産

Tableauで作成した国勢調査のダッシュボード

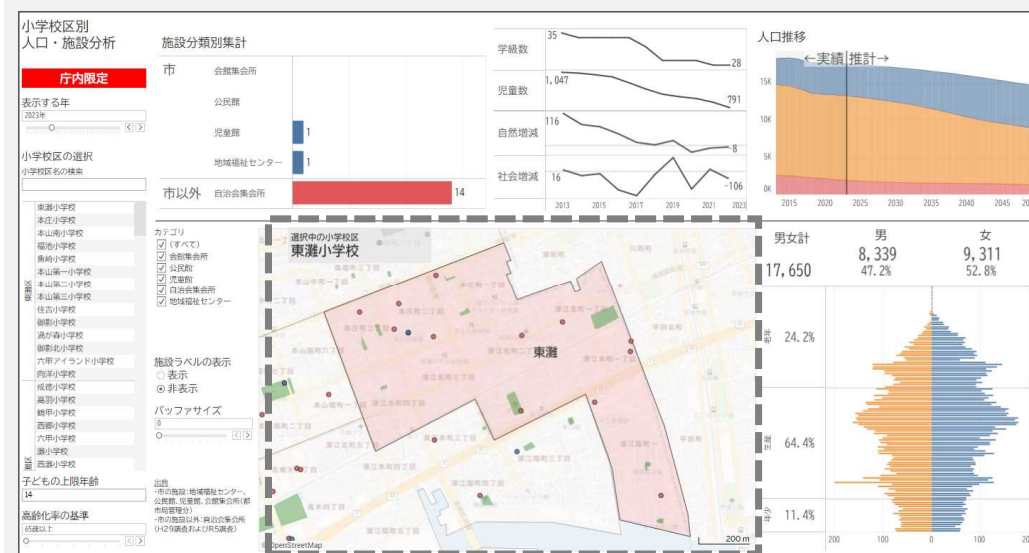
市内GISとTableauを掛け合わせることで、より詳細な分析が可能

交通事故のダッシュボード



小学校区ごとの分析が可能

公共施設設置状況のダッシュボード



Tableauの地図上でレイヤを重ねて分析

データ利活用関係研修の現状 ～データ利活用人材の育成～

神戸スマートシティ

○データ利活用人材の育成に積極的に取り組んでいる。

		初級（Cランク）		中級（Bランク）		上級（Aランク）
統計理論・実務		統計基礎（e-Stat、神戸統計書の見方等）		統計研修（重回帰分析まで）		—
統計局（国）		初級		中級（重回帰分析、各種検定等）		上級（AI理論等）
意識啓発		課長・係長昇任時研修 3年次研修 新規採用研修など		—	—	—
セキュリティ		情報セキュリティ		—	—	—
専用ソフト	Excel	LMS動画 （関数初級）	LMS動画 （関数中級、ピボットテーブル等）	KTL動画 （パワークエリ等）		「①現状に関する エビデンス」の 分析手法を学ぶ。
	GIS	GIS使い方研修（オンライン）		GIS研修（分析編）		
	KLA	KLA（KDDI Location Analyzer）使い方研修		KLA（KDDI Location Analyzer）使い方研修		
	Tableau	データユーザ		データアナリスト		
	R	政策評価手法を学ぶ		データ分析スキル習得研修（導入編）		
		「②政策効果に関する エビデンス」の分析手法を学ぶ。		プログラミング入門 ※ オンライン学習		プログラミング中上級 ※ オンライン学習

※ 上記研修プログラムとは別に、職員のICT知識の共有コミュニティであるKobe Tech Leaders（KTL）、神戸市のDX研修ポータル、Udemy等、職員がいつでも学べる環境を整備

日程 2024年8月22日

参加者数 40名（課長・係長・担当者）

研修の狙い 政策立案や地域課題解決へとGISの活用の幅を広げること

内容

①操作編

操作方法（ハンズオントレーニング）

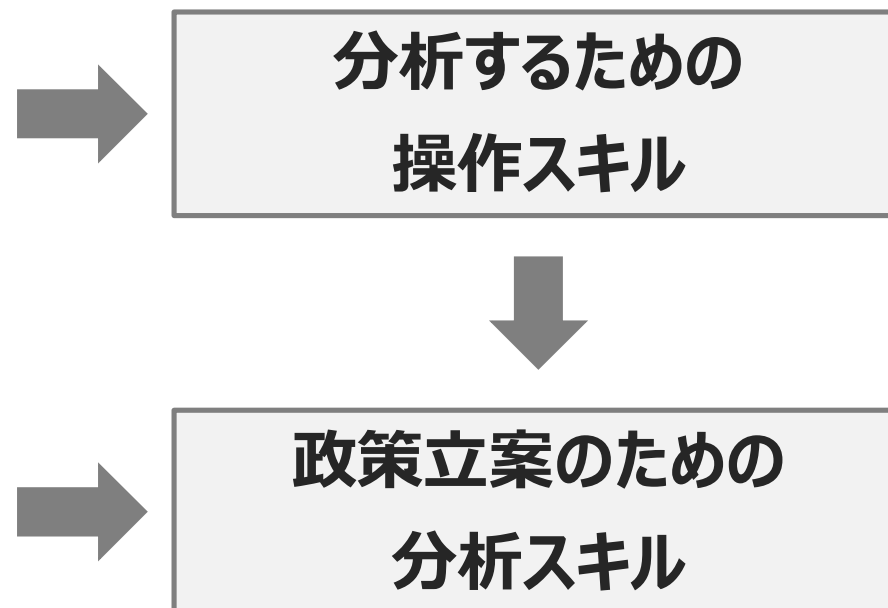
機能紹介

②演習編

演習問題

事例紹介

BIツールを用いた分析



演習内容

問題：「駅から300mの範囲で感染症罹患者数を集計」

【使用データ】

- ・集計対象駅
- ・罹患者データ（CSV）

【手順】

- ・CSVのインポート
- ・駅からバッファを発生
- ・バッファ範囲での罹患者集計、
空間結合、CSVエクスポート、レイヤ属性CSV一括更新



主に自治体職員を対象とした、行政DXを体験し、全国の先進事例を学ぶイベント、「スマートシティサミット in 神戸」を10/22-23に開催！

プログラム概要（抜粋）

- ・基調講演、パネルディスカッション
 - ・生成AIクロストーク
 - ・ドローンクロストーク
 - ・Tableauクロストーク
 - ・ドローン飛行体験と事例紹介
 - ・kintoneクロストーク
 - ・データ連携基盤（都市OS）クロストーク
 - ・BIツールを活用した データ分析実践ワークショップ
 - ・Tableauハンズオン
 - ・kintoneハンズオン
 - ・GISの事例紹介
- 等

参加実績

申し込み者数は445名
（実際の対面参加者142名 オンライン視聴300名以上）



所属	申込者数（団体数）
政令指定都市	109（16）
市町（県内）	47（19）
市区町村（県外）	94（59）
都道府県	46（16）
国	13（3）
民間企業	118（70）
その他	18（13）
計	445（196）

イベント申込者の内訳

**3府省110自治体
3大学80団体 !!**

神戸市におけるデータ利活用の進捗状況（R6年12月現在）

神戸スマートシティ

庁内データ連携基盤 （神戸データラウンジ）	全庁共有ダッシュボード数 101ダッシュボード	各局作成ダッシュボード 1,169ダッシュボード	蓄積データセット 147データセット	R5.4～平均アクセス 1,333アクセス/日	R5.4～平均View 563View/日
Tableau	総ライセンス数 405ライセンス	Creatorライセンス 91ライセンス	Explorerライセンス 314ライセンス	Tableauセイバー育成 合格21人	DataAnalyst育成 約300人
統合型GIS	総レイヤ数 9,179レイヤー	公開レイヤ数 779レイヤー	制限レイヤ数 8,400レイヤー	毎月約 1,500人 がロ グイン	平均 5 時間/人 使用
統計的因果推論・R	Rによる分析件数 24件（着手件数）	Rによる分析件数（内訳） 完了： 13件 分析中： 8件 撤退： 3件	導入編受講者数（2回） 58人 実践編受講者数（2回） 31人	先行論文検討テーマ数 27テーマ 検討先行論文数 655本	Rユーザー 80人
オープンデータ	データセット 140データセット	All機械判読可能	自動更新 ※全てではない	—	—
データによる業務 改革	DX 19ダッシュボード	税務部収税課 41ダッシュボード	健康局健康企画課 5ダッシュボード	健康局保健所保健課 45ダッシュボード	行財政局給与課 3ダッシュボード
	水道局 28ダッシュボード	—	—	—	—
データ利活用人材 育成（再掲）	Tableauセイバー育成 合格21人	DataAnalyst研修 約300人	実践編受講者数（2回） 31人	導入編受講者数（2回） 58人	—
その他	Data StaRt Award 3年連続受賞	住基データによる 独自将来人口推計	自治体等視察受入 116件（R4～）	取材・講義・講演等 105件（R4～）	KLA登録利用者数 216人
	全国公務員対象イベント R5:220人参加（現地49人） R6:445人参加（現地142人）	関連記事掲載後Xの反響 23万Views獲得	統計書のデータベース化	ヘルスケアデータ連携 システムの構築と活用	行政データに関する 有識者会議の開催

地理空間情報の利活用 大阪市の取り組み



計画調整局 企画振興部 統計調査担当

【地理空間情報の利活用促進】_統合型GIS

大阪市統合型GISでは、『全庁的な地図活用業務の共通業務基盤（庁内向けGIS）』と『市民向け地図活用基盤（市民向けGIS（大阪市地理情報システム「マップナビおおさか」））』を連携し、電子地図上に分かりやすく行政情報を掲載し情報共有を図っている。

統合型GIS

市民向けGIS
(マップナビおおさか)

市民向けGIS
DB

庁内向けGIS

庁内向けGIS
DB

連携

市民・事業者



都市計画情報、防災情報、統計情報、地形図、航空写真などの電子地図を公開

大阪市職員のみ



地図活用業務に利用

【地理空間情報の利活用促進】_庁内向けGIS

庁内端末からログインすることにより、庁内横断的に利用できる地図活用業務の共通業務基盤で、大阪市地形図・航空写真・住宅地図などを背景地図として、都市計画情報、統計情報等、様々な業務コンテンツ（レイヤ）を重ね合わせて、業務用の電子地図（デジタルマップ）を作成・編集することができる。

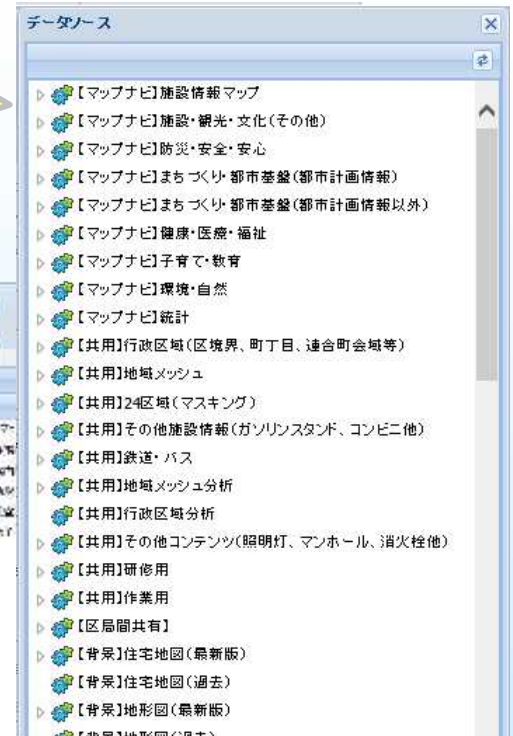
◆ログイン画面



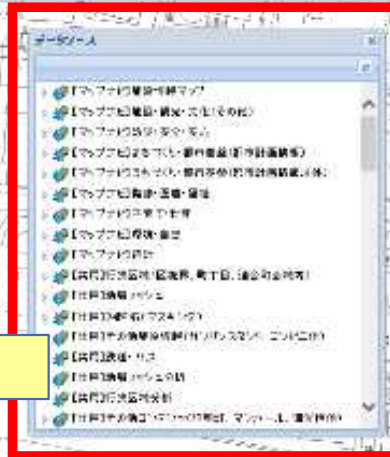
◆庁内GIS地図表示画面

共用できる様々な業務コンテンツが庁内GISデータソースに保管されている

◆庁内GISデータソース (データ保管場所)



※所属毎にアカウント設定されている。



【地理空間情報の活用促進】_市民向けGIS (マップナビおおさか)

インターネットを活用して市民や企業に対して、電子地図による大阪市の情報発信を行うためのWebサイトで、PC版とスマホ版がある。庁内向けGISのデータを基にして、カテゴリ別に、施設情報マップ、都市計画情報マップ、防災情報マップ、統計情報マップ、白地図、航空写真、各区役所個別マップ等を公開している。

◆PC版 (ログイン不要)

<https://www.mapnavi.city.osaka.lg.jp/osakacity/Portal>



54マップ公開
(令和7年1月1日時点)

※大阪市ホームページ



※マップ画面



相互リンク設定による情報発信の強化

施設等シンボルをクリックすることにより、詳細情報を表示

◆スマホ版 (ログイン不要)

<https://www.mapnavi.city.osaka.lg.jp/osakacity-sp/>



スマホ版ではGPS位置情報を基にマップの位置選択が可能

【事例紹介】_統合型GISでのマップ公開事例 ひがしなりSDGs万博フェスタ

令和6年10月23日に「ひがしなりSDGs万博フェスタ」マップを公開した。



ひがしなりSDGs万博フェスタとは

- 2025大阪関西万博が半年後に迫る中、SDGsの取組の周知とともに、区内の魅力を再発見するイベント。
- SDGsの取り組んでいる店舗を募集。それらの店舗をSDGsの取組とともに紹介し、店舗を周遊してもらうことで、区内の良いところ（店舗を含めて）を改めて発見してもらう。
➡店舗を紹介し、周遊を促すというイベントのため、店舗の場所を示した地図が必須



【事例紹介】_統合型GISでのマップ公開事例 ひがしなりSDGs万博フェスタ

統合型GISでのマップ公開により、以下の課題を解決した。

情報発信の課題

イベントへの参加率を高めるため、参加者に手軽に情報入手してもらえよう
に情報発信したい…



効果

特定の場所でしか広報できない紙媒体のチラシ (地図) 配架は行わず、デジタルマップで情報公開したことにより

スマートフォン等で手軽に情報入手可能

費用の課題

本事業のための予算がない…



効果

イベント担当部署で地図データを作成、本市の統合型GISの運用保守契約の範囲内でマップを公開し、紙媒体のチラシ (地図) 作成を行わなかったことにより
イベント担当部署での費用負担ゼロ

期間の課題

イベントに間に合うよう、迅速にマップを公開したい…



効果

イベント担当部署での地図データ作成や、統合型GISの保守事業者との連携等により
約2か月で新規マップを公開

上記の効果とともに、紙媒体のチラシ (地図) 作成を行わなかったことにより、配架に伴う職員負担の軽減も実現！

【地理空間情報の利活用促進】_利活用促進概要

「Web情報発信」と「人材育成」の2つを軸として、地理空間情報の利活用促進を行っている。

注目/認知

興味/訴求

検索/調査

利用/行動

共有/推奨

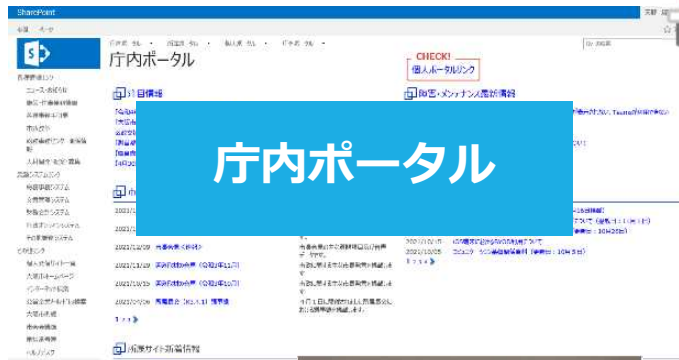
知ってもらう

使ってもらう

広めてもらう

情報発信

人材育成



市内ポータル

市内向けGIS
ヘルプデスク
マニュアル・手順書



マップナビおおさか
オープンデータサイト



国土地理院
利活用講習会



全体研修会（基本）
個別出張研修会・相談会



全体研修会（応用）
ワークショップ

 : 今回ご紹介する内容

【地理空間情報の利活用促進】_統合型GIS全体研修会

統合型GISの人材育成の一環として、統合型GISの運用保守事業者のご協力により、GISの基本知識及び統合型GISの活用方法等について、本市職員を対象とした「統合型GIS全体研修会」を毎年開催している。統合型GIS全体研修会は、「基本操作研修」と「活用研修（ワークショップ）」で構成されている。

統合型GIS 人材育成

ヘルプデスクによるサポート

- 管理業務代行
- 操作支援
- 問合せ対応

個別相談会
(出張研修)

活用研修（ワークショップ）
※課題解決に必要な
実践的な技術や考え方を習得

基本操作研修

→ 統合型GIS全体研修会



GIS活用の
組織風土醸成

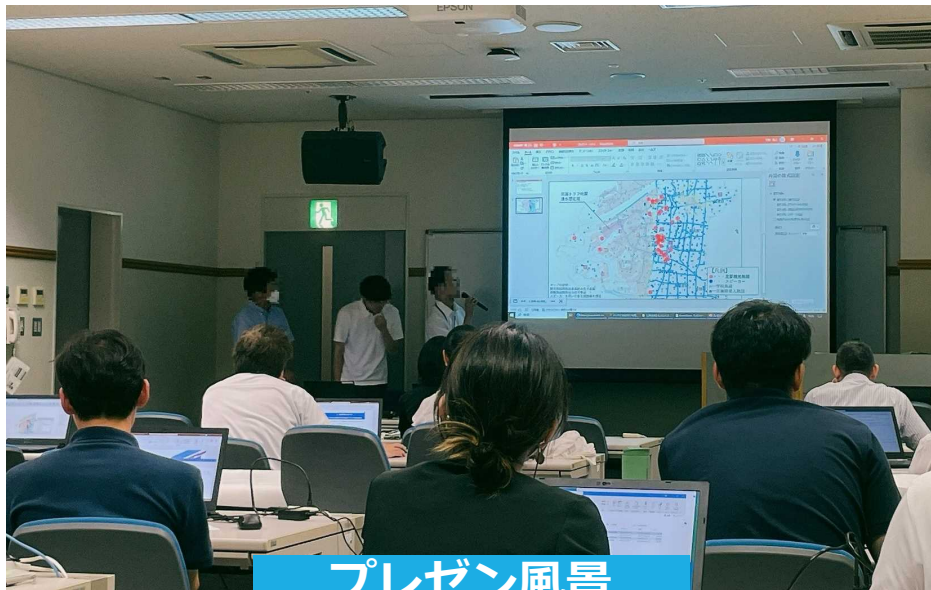
OJT教育などによる
利活用促進

全体認知度
基本スキル向上

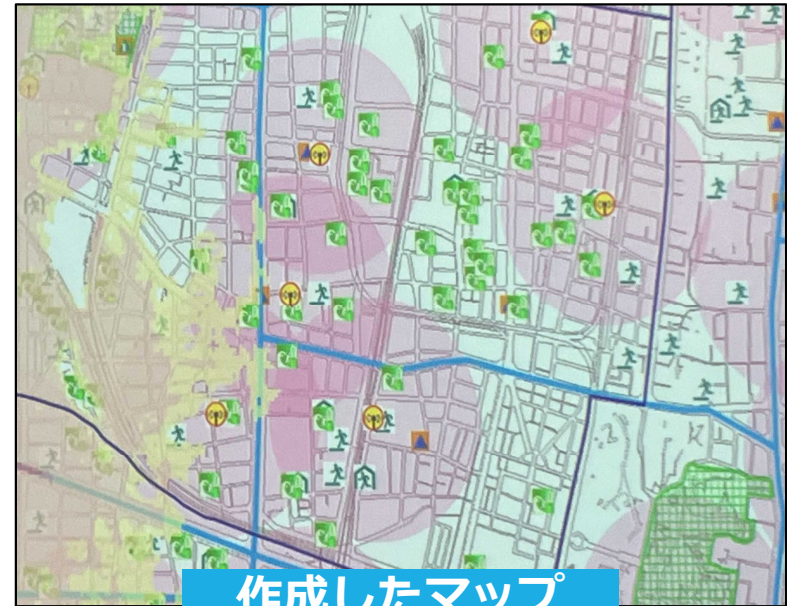
【地理空間情報の利活用促進】_統合型GIS全体研修会

令和4年度より、統合型GISの活用をさらに促進するため、「活用研修（ワークショップ）」を実施している。「活用研修（ワークショップ）」は、「GISによるデータ分析」や「GISによるデータの見せ方」が主とした内容となっており、グループワークにて課題解決テーマに取り組むものである。

今年度は、「観光防災まちづくり」「健康長寿のまちづくり」「放置自転車を減らすまちづくり」をテーマに、グループワークを実施した。



プレゼン風景



作成したマップ

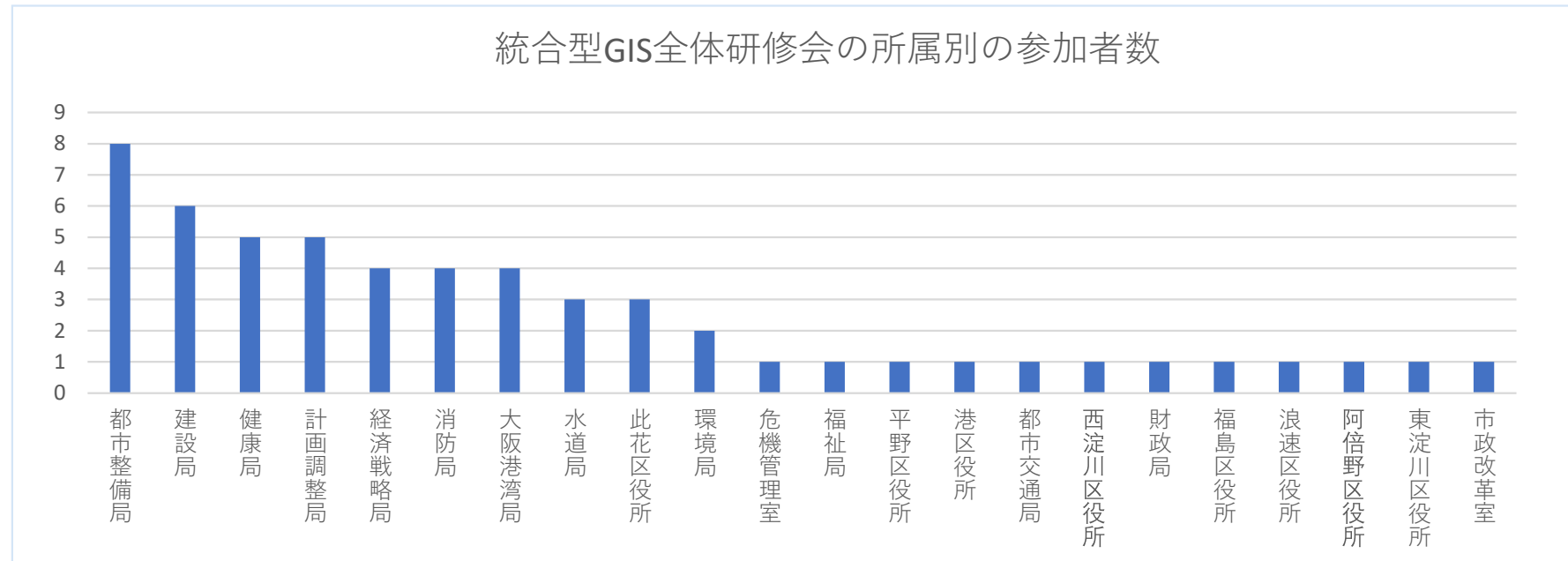
感想



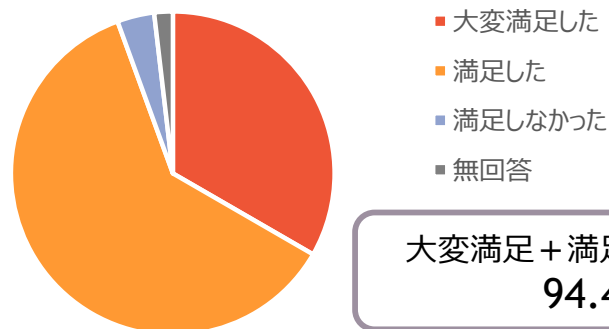
- ・ 実際の業務に近い形でGISを利用し検討資料を作成するワークショップは、データの使い方がよくわかり良かったと思います。
- ・ 実践的でとてもためになる研修でした。今後、EBPMの推進などで役立つ内容だと感じました。
- ・ 他部署間同士で意見交換できたのが良かった。

【地理空間情報の利活用促進】_研修結果

「統合型GIS全体研修会」は様々な所属から参加いただいた。アンケートの結果、満足度は非常に高く、講習会で得た知識・ノウハウを具体的な業務で活用したいという声も多数あり、大変好評であった。

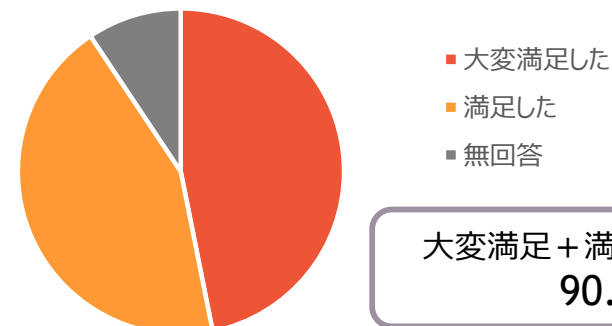


基本操作研修の満足度



大変満足 + 満足 =
94.4%

活用研修（ワークショップ）の満足度



大変満足 + 満足 =
90.6%